

平成26年度 琵琶湖 研究センター第5回シンポジウム【立命館大学との共催事業】

第5回シンポジウムが立命館大学 BKC ローム会館で開催されました。

参加者は会員企業や一般企業及び学生等も含めて75名の方が参加されました。

本年度は「湖底堆積物の魅力と利用そして課題。」をテーマに掲げました。

日本最大の淡水湖である琵琶湖の環境を形勢する、湖底の堆積物や流域環境、これらの果たす役割や知られざる魅力等について、そして琵琶湖の底質活性化とその応用について多角的な角度から琵琶湖への理解を深めるために今回のシンポジウムを開催しました。

- ◆開催日時 平成 25 年 9 月 24 日 (水) 14:00~18:30
- ◆開催場所 立命館大学 びわこ・くさつキャンパス ローム記念館 1階及び3階
- ◆参加者 75名(内会員19名)
- ◆共催 立命館大学琵琶湖 研究センター / (公社)滋賀県環境保全協会

【プログラム】

1、挨拶 立命館大学 琵琶湖 研究センター長 中島 淳氏(理工学部環境ソリューション工学科教授)

II、講演内容

- ① 「太陽と氷の長い戦い:琵琶湖の堆積物に記録されたモンスーン変動」
…古気候学研究センター長 中川 敦氏
- ② 「琵琶湖沿岸の底質の泥質化と流域環境の変化」
…滋賀県琵琶湖環境科学研究センター 大久保 卓也氏
- ③ 「琵琶湖の底質活性化とその応用」 …水環境分科会底質活性化PTリーダー 中川 隆一氏
- ④ 立命館大学研究生18名によるショートプレゼンテーション



① センター長 中島教授のご挨拶に始まり



②中川教授の「氷と太陽の長い戦い」の熱演です。



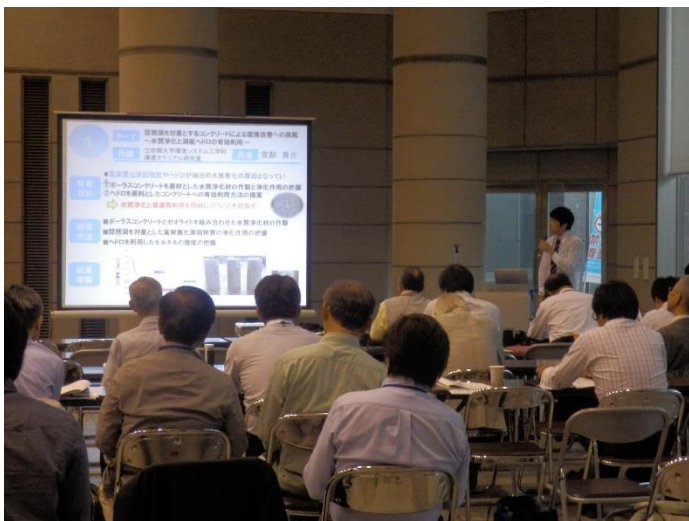
② 大久保博士の「琵琶湖沿岸の・・・」講演



④ 中川先生による「琵琶湖底質の活性化とその応用」講演



⑤ 研究生18名によるポスターセッション・・・
未来の技術分野に期待がもてる素晴らしい内容です！！



⑥ 研究生18名と各企業との和やかな交流会
と藤井専務理事による一本締めで講演会終了

